

議 事 録

1 会議名	第5回美濃加茂市定住自立圏共生ビジョン懇談会
2 開催日時	平成22年3月4日(木) 15時から17時
3 出席者名	委員：山田實紘委員、鈴木登委員、則竹邦光委員、青柳芳男委員、大野寧彦委員、久門圭子委員、高井正文委員、小笠原伸委員、佐野綾目委員、小倉郁乃委員、渡辺厚委員、久世康夫(代理)久保山委員 アドバイザー：細川昌彦 以上敬称略 市側：渡辺市長、宮口誠経営企画部長 行政経営課(事務局)
4 議題	将来ビジョン(将来像・キャッチフレーズ)など
5 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none">・ 協定書の変更について報告した後、共生ビジョン(素案)の概要説明を行った。・ 将来像のキャッチフレーズや具体的取組について、各委員から意見を伺った。
6 審議の内容	

渡辺市長	<p>別添次第及び資料に基づき議事を進行した。以下に要点を記す。</p> <p>1 開 会 (省略)</p> <p>2 市長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市長になって丸4年になるが、最も印象に残っていることは、外国人の皆さまとの座談会で、なぜ美濃加茂に住んでいるのか質問したところ、「仕事があるから」という回答をいただいた。 ・ この地域に仕事があるということがひとつの課題になっていくと思う。 ・ 本日は第5回ということで最後の会議となるので、活発なご意見をいただきたい。 <p>3 美濃加茂市・坂祝町定住自立圏形成協定書の変更について (事務局が資料1に基づき説明)</p> <p>4 美濃加茂市・坂祝町定住自立圏共生ビジョン推進会議および美濃加茂市・坂祝町定住自立圏構想プロジェクト会議における具体的取組の提案について (事務局が資料2・3に基づき説明)</p>
高井委員	<p>5 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 概算事業費が示されているが、財源の目処は立っているのか。 ・ 事業数が多いが、5年間ですべての事業に着手するのか。プライオリティをどのように考えているのか。 ・ 民間活力の導入とあるが、誰が主体となってそれを実行するのか。推進主体や推進システムの確保・構築が難しい点になってくると思うが、どのように対応するのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総務省が財政支援について、具体的な指針を示している。平成23年の概算経費を総務省に示し、了承を得られれば地方交付税上乗せという形で支援してもらえると聞いている。今後、総務省と意見交換をする中で、財源についても考え直していく予定である。 ・ プライオリティは大事であると考えており、エンジンを中心に検討していく。エンジンの主体は民間を考えており、行政と連携しながら、実践的な実施計画を作成していく予定である。
則竹委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的によくできていると思うが、いかに実施するかが重要である。その意味では、エンジンがしっかり機能することが一番大切である。人選はどうするのか。案として、元気な高齢者を活用したらどうか。
則竹委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の地域の地域活性化の事例を見ると、役所や商店街等のアイデアマンによる個別アイデアによって活性化しているケースが多い。

佐野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ エンジンを日本語にできないか。「輪」をイメージさせる、もう少しよい言葉があるのではないか。 ・ 余っている物を活用してこそ活性化という意見に賛成する。伊深の場合は竹と木がある。他地域で、竹と木と土で肥料を作っている取組があると聞いたことがある。 ・ 電気を使うエンジンではなく、人を使って動くエンジンを考える必要がある。併せて、名称についても「人の力を活用する」ことをイメージできる言葉がよい。
山田座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮称であるため、名前は変えられる。「エンジン」は再考した方がよいのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「推進力」ということからつけた名称である。人選については、ワーキンググループからも提案をいただいているが、具体的なことについては、今後協議していく。
小笠原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの程度エンジンという組織やファンドを構築できるかが鍵になってくる。いかにして若い人材を取り入れるかが重要である。美濃加茂で活動したいけどフィールドがない、戻っても仕事がない、という人に対して新しいビジネスを提供し、若い人材の回帰につなげていかないといけない。 ・ 懇談会のメンバーが、どの程度事業の支援を行っていくか、覚悟する必要がある。
青柳委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の企業や市民に広げていくことが重要である。企業も地域で活動するので参加したい。 ・ 何をめざして、何のためにするのか、事業の目的や意義をしっかりと捉える必要がある。事業を選択集中し、優先順位つけて検証しながら進めていくべきである。 ・ 工場見学や障害者雇用の充実、工業用水の活用を進めていきたい。
渡辺委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飯田市は、市民病院の応分の負担から始まっているが、美濃加茂は素地があるので、是非推進してもらいたい。外国人の子供たちへの支援等は、実際に進んでいる。 ・ 財源の問題等あるが、役所が参加・協力して、税の調達や他地域と情報交換を行うなど調整してほしい。
小倉委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容がすばらしくなっている。中でも、3つの基本姿勢が非常に重要である。 ・ キャッチフレーズが優しすぎて、躍動感に欠けている気がする。もう少し短く絞って、耳にしたときにはっとするキャッチフレーズを考えてほしい。
山田座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局が非常に大変な思いをして考えていたので、ご考慮いただきたい。
久門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常によくまとまっていると思う。既存の観光資源の活用とあるが、決して新しい考え方ではなく、うまくいっていないのが現状である。既存施設を活用したイベントについても、施設固有の制度があるので、制約が多い。エンジンはこういう状況をよく理解する必要がある。

久保山委員	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの事業が連携する必要がある、エンジンがその役割を担っていくと考えてよいのか。工場見学をした後に特産品を買ってもらうなど、連携して地元に戻元していくことがエンジンに託されている。 キャッチフレーズについては、私もシンプルがよい。もう少しメッセージを絞ったほうがよい。
大野委員	<ul style="list-style-type: none"> たくさんのお客さんが工場見学に来るが、その後は下呂温泉に行ってしまう。本来は市内で長期滞在してもらうべきである。ものづくり博物館の設立など、ものづくりで人を呼び寄せて輪ができ、地域が活性化すればよい。 めざすはいかにここに住んでもらうかであり、客に満足感を与え、いかに満足してもらうかが重要である。そのためには役所の調整が重要であり、連携して効果を出していきたい。
山田座長	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりで大切なのは保健・医療・福祉であると考えている。特に休日急患診療についてはどの自治体でも頭が痛いところである。昼間の待ち時間を避けるために、夜間病院を利用するなど、医者のかかり方を知らない人が増えている。新型インフルエンザをきっかけに、病院側を守らないといけないという考え方や、重症患者を優先するという考え方がようやく普及するなど、市民感覚に変化が出始めたところである。 他の町村にも早く定住自立圏に参加してもらいたい。
鈴木委員	<ul style="list-style-type: none"> エンジンは戦略会議、推進会議として位置づけられるのではないかと。 労働集約ということで外国人が定住しているが、無免許運転による事故や盗難などが以前から懸案されている。ごく一部の方の行為であるとは思いますが、治安が心配である。 公共の交通システムの構築について、「道路運送車両法」をクリアすることが課題である。 事業の優先順位は、医療・福祉・環境であると思うが、お金のかからないものからスタートしていくことが重要である。
細川アドバイザー 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 最も優先する事業はどれか 56ページのエンジンの構築であり、事業としては、安心・安全、環境分野の事業である。
細川アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> 目玉事業とキャッチフレーズがリンクしていることが重要である。キャッチフレーズの細かい文言より、中身が重要である。ブランド戦略として、それらの意味を共有することが重要である。 全体を見ると「ゴルフ」はバランスが悪い。 目玉であるエンジンについて、単なる会議体なのか、汗を流す組織なのか、皆でエンジンのイメージを共有したほうがよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 中核的組織であり、お金も人もある程度出していける組織を想定している。
細川アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> そうすると、単なる会議体ではない。まちづくりで成功している全国例で共通しているのはキーマンがいることである。そのような人材を見出せるかにかかっている。役所との役割分担をどうするか詰める必要がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各論でいうと、産業関係で、大事なものは単なる工場見学ではなく、産業観光で「何」をアピールするか考える必要がある。自己満足ではなく広く取り上げられるようにしていくべきである。 ・ 特産品について、全国で失敗しているのは販路の拡大である。商品開発だけでなく販路開拓を強化する必要がある。 <p>6 その他 (事務局から今後のスケジュールを説明、市長から御礼の挨拶)</p> <p>閉会</p>
7 会議資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 美濃加茂市・坂祝町定住自立圏形成協定書の変更概要 (案) 2 将来像の実現に向けた具体的取組の概要 3 みのかも定住自立圏共生ビジョン (素案) 4 将来像イメージ「ここに住むしあわせ。HOTエリアみのかも。」 5 美濃加茂市・坂祝町定住自立圏の形成に関する協定書概要